



学校だより

2月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

「食の教育 ～給食週間にちなんで～」

副校長 丹野 一郎

まだ厳しい寒さが続きますが、もうすぐ立春（2月4日）、暦の上では春がやってきます。暦便覧には、立春の位置づけを、「春の気立つを以って也」とあります。この日から立夏（5月5日）までが春とされ、まだ寒さの厳しい時期ではありますが、日脚は徐々に伸び、九州から太平洋側の暖かい地方では、梅が咲き始める頃とされています。

さて、今年度、緑園東小学校では、1月17日から1月23日までが給食週間でした。17日のお昼の放送では、給食委員会の子どもたちから、「給食は健康を考えるための教材として、とても大切な役割をもっています。とくに、給食週間中は、食べ物やそれにかかわる人に感謝の気持ちをもって過ごしましょう。」というお話がありました。

本校は現在、給食室が改修工事のため、給食を実施していません。来年度、新たに緑園学園となり、給食が再開されることを、今からとても楽しみにしている子どもたちも多いことでしょう。今年度、本校では、7月まで給食が実施されていました。給食調理員の方々が、給食室のある既存校舎棟から現在教室のある新校舎棟までの長い距離を、ワゴンを使用して給食を運んでくださっていました。子どもたちが、ワゴンの受け渡しの際に、「いただきます」「ごちそうさまでした」「いつもありがとうございます」と、給食調理員の方々に、感謝の気持ちを込めて声をかける姿が毎日見られました。

そして、9月からはお弁当となり、ご家庭から持参したり「配達型弁当」を注文したりしています。20日の給食集会では、子どもたちは、ご家庭でお弁当を作られる保護者の皆様に感謝していることはもちろん、「配達型弁当」を配達してくださる業者の皆様へも、日頃の感謝の気持ちを伝える取組（感謝の気持ちを綴った俳句づくり）が発表されました。教室でご家庭でしっかり学んでいるのだなと感心いたしました。

ここで、食に関するお話を一つご紹介したいと思います。「孤食（こしょく）」という言葉をご存知でしょうか。「孤食」とは、生活環境の変化にともなう食生活の変化により、家族がそろうことなく、たったひとりで食べる食事形態のことです。「孤食」は、数年前から話題になり、一般的にも知られる言葉となりました。他にも、「子食」「個食」「固食」…いろいろと当てはまる「こ」の字があるそうです。

孤食：家族がそろうことなく、たったひとりで食べる食事形態

子食：子どもだけで食べる食事形態

個食：家族がそれぞれ好みのものを食べたり、バラバラに食べたりする食事形態

固食：好みのものだけを食べ続ける食事形態

小食：食べる量を減らす食事形態

粉食：パンや麺類といった粉系中心の食事形態

もちろん栄養のバランスに日々気をつかい、絶対その通りにしなくていけないという訳ではありません。ご家庭で食事をする際、振り返っていただければよいのではないのでしょうか。食の教育に関しては、ご家庭の協力なしだと、その効果も半減してしまいます。子どもたちの健康と心豊かな育ちのためにもどうぞご協力よろしくお願いいたします。

いよいよ本校の閉校まであと2か月となりました。そのような折、依然制限のある生活状況が続いていますが、子どもたちの安全を最優先に考え、今後も引き続き、感染症対策を講じながら教育活動を進めてまいりたいと思います。今月もご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。